

第1学年国語科学習指導案

平成27年12月9日(水)
柏江市立緑野小学校
1年1組 31名
授業者 春日 弓子

1 単元名 しらせたいな、見せたいな

2 単元の目標

- 書いて知らせたいという意欲をもって、情報を収集し、文章を書こうとする。
(関心・意欲・態度)
- ◎ 書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。
(書(1)アウエ)
- 書こうとする題材について書いた図書教材を探し、そこから情報を見つけメモすることができる。
(読(1)カ)
- 句読点を正しく使って文章を書くことができる。
(伝国オ)

3 単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
○書いて知らせたいという意欲をもって、情報収集し、文章を書こうとする。	○書こうとする題材に必要な事柄をよく観察したり、図書教材を探したりして、情報を集めることができる。 ○語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。	○図書教材を探し、欲しい情報を見つけ出すことができる。	○句読点を正しく使って文章を書くことができる。

4 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、対象物の情報を集め、文章に書く最初の学習である。文章を書き、伝える楽しさを児童に感じさせるために、日頃から交流がある6年生、そして緑野小学校の伝統的な活動でありみんなの憧れであるブラスバンドに目を向けさせ、ブラスバンドで使っている楽器について書くために学習をするという単元を設定した。また、本単元では、文章を書くための情報をしっかりと集めることを学習させるために、作文マップを使って、五感を働かせてしっかりと観察をしたり、6年生から話を聞いたり、図書資料を調べたりして得た情報を整理し、作文マップを利用して文章書くことを身に付けさせる。

(2) 児童について

小学校に入学して8か月、学校生活に慣れ、学習のやり方も身に付いてきた。

作文については、5月に主語と述語「ーがー。」という文型で書くことから始めた。「おおきくなった」

では、あさがおやひまわりを視覚や触覚を活用して観察し、観察カードに書く練習を行った。2学期の始めには、作文マップを利用して、夏休みのことを「いつ・どこで・だれと・なにをした」という点を落とさず、作文に書くことを練習した。その後もテーマを決め、作文マップを使った作文を書く練習を積み重ねている。

図書資料を活用した学習については、1学期「くちばし」で図書資料を読んで、「くちばし辞典」を作ったり、2学期「うみのかくれんぼ」では、図書資料から読み取ったことを、「いきものかくれんぼクイズ」にまとめたりする学習を行ってきた。10月には、「じどう車くらべ」で、図書資料を活用し、「じどう車ずかん」を作る学習を行った。また、2学期からは、週1回程度ノンフィクションの絵本を10分間読んで、「びっくりをさがして、友達に教えよう」という学習を積み重ね、図書資料から情報を抜き出す練習をしてきた。

今回の単元では、調べたい楽器の載っている図書資料を初めて探す活動となる。作文の情報収集の一つとして図書資料を活用し、作文の話題を広げるとともに、調べ学習の第1歩としたい。

(3) 図書資料について

楽器の資料は、難しいものが多く、また児童数分用意をすることが困難であった。1年生が読み取るということを考え、自分の楽器の資料を見つけやすくするために、教員が使いやすい資料を選び、カラーコピーで掲示をし、児童が書き込んで考えられるようにコピーを用意した。なるべく同じ楽器について2つ以上の資料を掲示し、選べるようにした。また、少し難しい図書資料についても興味がある児童が読めるように、すぐ手にとれる場所に並べた。

5 指導計画 (9時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価○規準【観点】(方法)
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○6年生の素敵だなどと思う姿を話し合う。 ○ブラスバンドでの活動やどんな楽器を演奏しているのか話し合う。 ○学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ブラスバンドで使っている楽器と名前などを調べておく。 ○6年生がブラスバンドで演奏している楽器を家族に紹介したいという意欲をもたせる。 ○教材文で学んだことを活かして、ブラスバンドの楽器について作文を書くことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ブラスバンドの楽器のことを家の人に紹介しようという意欲をもつ。【関】
ブラスバンドのがっきのことをいえの人につたえよう				
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文「しらせたいな、見せたいな」や、がっこうとしょかんかつようノートの11「しらべて、カードにかこう」を読み、取材をして情報を集める方法を知る。 ○オルガンを見て、見つけたことを作文マップに書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目、鼻、手、耳、心を使って、取材をすることを知らせる。 ○作文マップの使い方を思い出させる。 ○共通教材オルガンを使って、取材の仕方を練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、書くための情報を集めることができる。【書】

	<p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>○オルガンについて書いた図書資料を読んで、興味をもったことを友達と出し合い、自分が知らせたいと思ったことを情報カードに書き出し、交流する。</p> <p>○教材文「しらせたいな、見せたいな」を読み、取材を基に文章を書く方法を知る。</p> <p>○オルガンの取材を基に、文章を書く。</p> <p>○書いた文章を友達と交流する。</p> <p>○書いた文章を読み返し推敲する。</p>	<p>○オルガンについて書いてある図書を準備しておく。(共通資料)</p> <p>○図書資料からどんな情報を取り出したらよいか、友達との交流の中で気付かせる。</p> <p>○情報カードは作文マップに張り付けられるものにする。</p> <p>○教材文の良いところについて気付かせる。</p> <p>○作文マップに書いた情報をどんな順番にかいたら良いのか考えさせる。</p>	<p>○書こうとする題材について書いた図書教材を探し、そこから情報を見つけメモすることができる。【読】</p> <p>○語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。</p> <p>【書】</p> <p>○句読点を正しく使って文章を書くことができる。【伝国】</p>
<p>3</p> <p>本時</p>	<p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p>	<p>○ブラスバンドのどの楽器について家の人に教えたいか、決める。</p> <p>○6年生に楽器を見せてもらい、作文マップに情報を書き出す。</p> <p>○選んだ楽器についての図書資料を探し、読んで家の人に教えたいと思ったことを情報カードに書き出し、友達と交流する。</p> <p>○取材をして集めた情報を基に、文章にまとめる。</p> <p>○自分で書いた文章を読み直し、推敲する。</p> <p>○友達同士で読み合い、お互いの良い点を伝え合う。</p> <p>○家の人に見せ、感想を書いてもらう。</p>	<p>○6年生と1時間学習させてもらう。</p> <p>○楽器を観察して分かったこと、6年生から聞いて分かったことを作文マップに書き込ませる。</p> <p>○読みやすい図書資料を用意する。</p> <p>○オルガンでの学習を基に、作文マップに書いた情報をどんな順番にかいたら良いのか考えさせる。</p> <p>○声を出して読ませ、誤字や句読点が打たれているかどうかについて推敲させる。</p> <p>○友達の作文の良い点を伝え合い、自分の作文の良い点や、友達の作文の真似したい点に気付かせる。</p> <p>○家の人に見せることで、また作文を書いて見せたいという意欲をもたせる。</p>	<p>○書こうとする題材に必要な事柄をよく観察し、書くための情報を集めることができる。【書】</p> <p>○書こうとする題材について書いた図書教材を探し、そこから情報を見つけメモすることができる。【読】</p> <p>○語と語や文と文の続き方に気を付けて書くことができる。</p> <p>【書】</p> <p>○句読点を正しく使って文章を書くことができる。【伝国】</p>

7 本時の指導（7/9時間）

（1）目標

書こうとする題材について書いた図書資料を探し、そこから情報を見つけメモすることができる。【読】（1）カ）

（2）展開

	学習活動	指導上の留意点	評価（評価方法）
導入	1 本時のめあてを確認する。	○どんな楽器について、観察したのか、観察して分かったことなどを報告し合い、もっと知りたいと思ったことを話し合う。	
	ほんをよんで、いえの人につたえたいじょうほうを見つけよう。		
展開	2 調べている楽器の図書資料を探す。	○読みやすい図書資料を用意し、並べる。児童が使いやすいページをカラーコピーし掲示をし、読み取り用に白黒のコピーを用意しておく。	
	3 図書資料を読み、興味をもった箇所にアンダーラインを引く。	○書名は後で書くことを伝える。	
	4 アンダーラインを付けた中から、いえの人に伝えたいと思う内容を選び、情報カードに書き出す。	○図書資料の情報は、大事だと思う部分を抜き出すように指示する。	○書こうとする題材について書いた図書教材を探し、そこから情報を見つけメモすることができる。【読】（情報カード）
	5 情報カードに書いた内容を同じ楽器を選んだ友達と交流する。	○上手く情報を読み取れなかった児童にも、情報を交流することで、どんな内容を選び出せばよかったのか、気付かせる。	
まとめ	6 次の時間には、作文マップを使って作文を書くことが分かる。		

<図書資料>

- はじめての楽器 フルートとトランペットの演奏 監修・池辺 晋一郎 文研出版
- はじめての楽器 太鼓と木琴の演奏 監修・池辺 晋一郎 文研出版
- はじめての楽器 ピアノの演奏 監修・池辺 晋一郎 文研出版
- 山田和樹とオーケストラのとびらをひらく 著者・山田和樹 アリス館
- 21世紀こどもクラシック第2巻楽器のはなし 監修・青島広志 小学館
- オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑2 木管楽器 リコーダーのなかま 著者・佐伯茂樹 小峰書店
- オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑3 金管楽器 トランペットのなかま 著者・佐伯茂樹 小峰書店
- オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑4 打楽器・鍵盤楽器 太鼓やピアノのなかま 著者・佐伯茂樹 小峰書店
- オーケストラ・吹奏楽が楽しくわかる楽器の図鑑5 オーケストラと吹奏楽 合奏と鑑賞の楽しみ 著者・佐伯茂樹 小峰書店